平成28年度徳島県国土利用計画審議会議事録

- 1 日時 平成29年1月26日(木) 11:00～12:00
- 2 場所 徳島県庁11階 1104会議室
- 3 出席者 川瀬益栄委員、橋本延子委員、中村秀美委員、三好真千委員、松田春菜委員、中野晋委員、鈴木尚子委員、吉田光子委員、小川宏樹委員、川原哲博委員、山本ちさと委員、田村隆雄委員、宮本正委員

4 議事概要

(1) 会長の選任及び会長職務代理者の指名

会長に中野委員、会長職務代理者に小川委員を選任

(2) 土地収用事業認定部会委員の指名等

部会の委員に、川瀬委員、三好委員、中野委員(部会長職務代理者)、吉田委員、小川委員(部会長)、田村委員を選任

(3) 議案

【会長】

徳島県土地利用基本計画の変更について、事務局から説明してください。

【事務局】

資料により説明

【委員】

周りが森林地域なので、こういった開発をされると土砂流出の恐れなどが考えられるが、何か対策を取られているのか。

【事務局】

この開発区域は、森林法に基づく地域森林計画対象民有林の区域で、規制がかかっており、1ヘクタール以上の開発を行う場合は知事の許可が必要になる。

県に許可申請があれば、災害や土砂の流出の恐れがないか、崩れるような構造になっていないか、沈砂池などの必要な措置がされているかなど、審査基準に基づいて十分審査した上で許可をしている。

今回の案件については、完了確認を行い、適正に開発がなされているので、ご指摘のような心配は特にないと考えている。

【委員】

特別な措置を施したということはないのか。

【事務局】

この箇所については山林なので、水の対策は沈砂池を設置するなど万全な排水計画を立て、周辺への影響が及ぶような構造になっていないかなど、法律の基準に基づいて必要な措置がなされている。

【林業戦略課】

周辺地域への影響が少ない事業計画であれば許可される。工事が終わった段階で職員が現地確認に行き、設計通りにできているか、周辺の森林に影響がないかなどを確認した上で完了の通知を出しているため、周りの森林への影響はないと考えている。

【委員】

この開発において、特に県の方からこれをしてくださいというようなことはなかったということか。

【林業戦略課】

今回の案件については、申請どおりできていたため、特段の指導はしていない。当然計画通りになっていないときには指導して改善を確認する。

【委員】

私も適正に指導されているのか疑問があったが、災害があつてからでは大変なことになるので十分に指導していただきたい。

私は林業を通じ自然とのかかわりが深く、山は先祖からの預かり物、国の預かり物と認識して仕事をしている。今温暖化が進んでいて、どこで災害があつてもおかしくないような状況になっている。

何もなければ、皆さん無意識のうちに生活されていると思うが、山は川から海まで全部関連しているので、いろんな不具合が出てくる恐れがある。持続可能な健康な山づくりをしないと、海まで大変なことになるので、やはり山側でやっている私たちの責任は重いと思っている。

持続するというのは簡単に言葉では言えるが大変難しいことである。一人一人が災害が多くなっていることを踏まえ、危機感をもって臨んでもらいたい。

それと事業に当たってはきめ細やかな心配りをしてないと大変なことになるので、十分に気をつけてもらいたい。

【会長】

他にございませんか。

(なし)

【会長】

土地利用基本計画の変更案については、原案を適当と認め、その旨を知事に答申することとしてよろしいか。

(異議なし)

【会長】

それでは、原案どおり承認し、知事に答申することとする。

なお、答申の文案は会長に一任ということで対応させていただく。

(4) 報告事項

事務局から資料により国の新年度関連施策等について説明。

二地域居住、耕作放棄地等について若干の質疑後、事務局から会議運営に関する事務連絡。